

## 2 富山県の都市計画道路の現状

### (1) 都市計画道路の整備状況

- 本県の都市計画道路は、平成16年3月末現在、延長約995kmである。（【図-1】参照）
- 平成16年3月末現在の整備状況は、改良済区間と概成済区間をあわせて、約7割、延長約695kmである。（【図-1】参照）

改良済：道路用地が計画幅員どおり確保されており、一般の通行の用に供している道路の区間、事業中の区間については、事業決定区間の全体事業費に対する年度末換算完成延長で考える

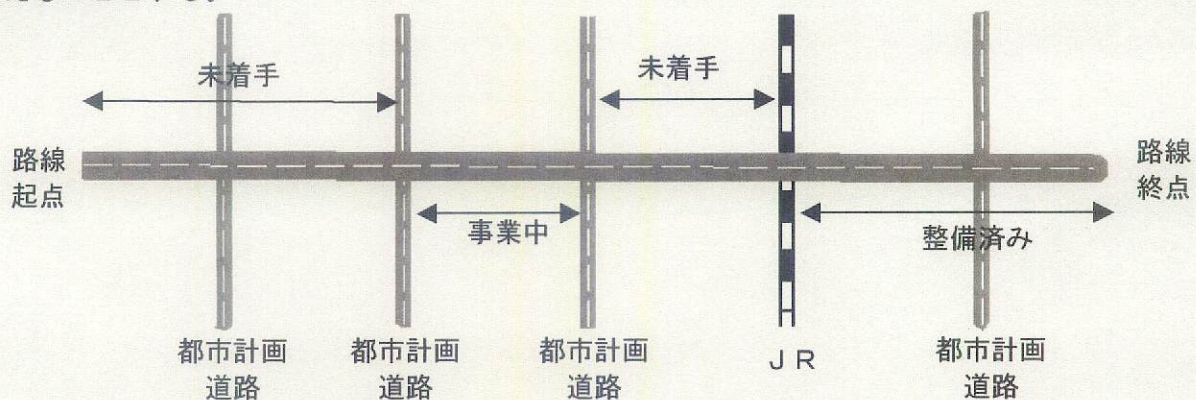
概成済：路線として都市計画道路と同程度の機能を果たしうる現道（おおむね計画幅員の2/3以上又は4車線以上）を有する区間

- 市町村により、都市計画道路の整備状況に開きがある。（【図-2】参照）
- 未整備の都市計画道路のうち、約6割、延長約185kmが未着手である。（【図-1】参照）

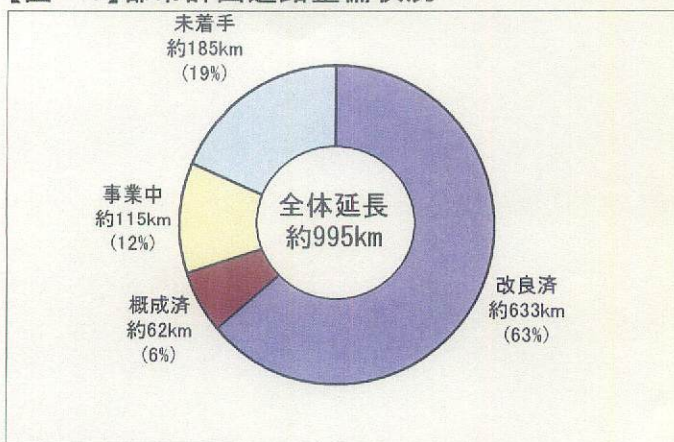
#### <未着手区間（延長）の考え方>

都市計画道路はネット（網）を構成しているため、原則、路線の起終点及び他の都市計画道路との交差点で区切った区間が全て未整備である場合、その区間を未着手区間と考える。（ただし、鉄道、河川、主要な幹線道路などで事業が休止している場合、このポイントで区切ることをとする。）

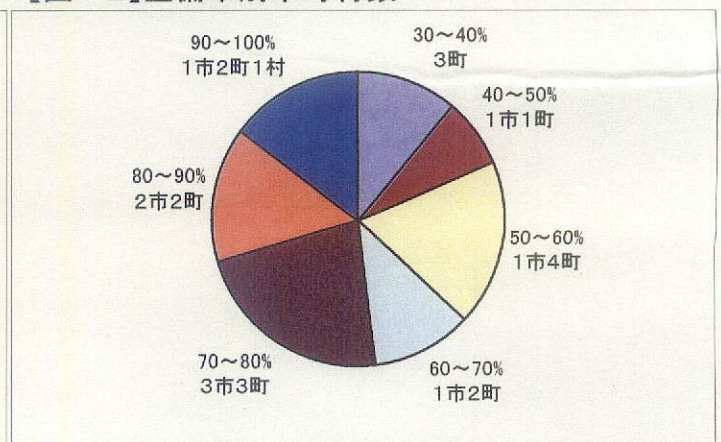
なお、路線の機能などが同等と考えられる未着手区間が連続する場合は、一つの未着手区間と考えることをとする。



【図-1】都市計画道路整備状況



【図-2】整備率別市町村数



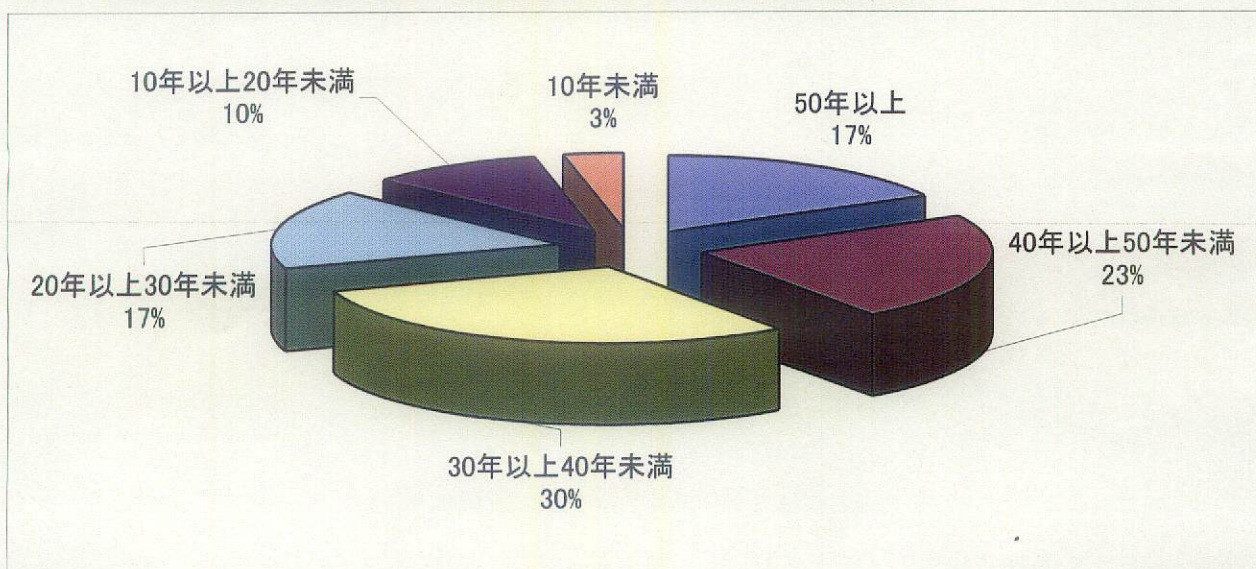
(2) 未着手都市計画道路の経過年数

- 未着手都市計画道路の約9割、延長約160kmが、当初の都市計画決定から20年以上経過している。（【表-1】 【図-3】 参照）
- 未着手都市計画道路の約7割、延長約130kmが、当初の都市計画決定から30年以上経過している。（【表-1】 【図-3】 参照）

【表-1】当初都市計画決定年次別未着手都市計画道路区間及び延長

当初都市計画決定年次	当初都市計画決定からの経過年数	未着手区間		未着手延長	
		区間数	割合	延長(m)	割合
S12～S29	50年以上	27	12.2%	31,710	17.2%
S30～S39	40年以上50年未満	67	30.3%	41,910	22.7%
S40～S49	30年以上40年未満	62	28.1%	55,680	30.2%
S50～S59	20年以上30年未満	38	17.2%	30,790	16.7%
S60～H6	10年以上20年未満	23	10.4%	18,260	9.9%
H7～H16	10年未満	4	1.8%	6,020	3.3%
合計		221	100.0%	184,370	100.0%

【図-3】未着手都市計画道路の当初決定からの経過年数別延長割合



(平成16年3月31日現在)

### (3) 都市計画道路整備の推移と今後の見通し

#### 都市計画道路の計画延長

- 都市計画道路として都市計画決定された延長は、昭和52年頃から年平均7km強の伸びで推移してきたが、昭和60年から平成5年頃までは年平均約18kmという高い伸びを示している。（【図-4】参照）

#### 都市計画道路の整備延長

- 都市計画道路の整備延長は、昭和60年頃まで年平均10km程度であったが、昭和60年から2000年国体が行われた平成12年頃までは年平均15km前後となっている。（【図-4】参照）

#### 都市計画道路整備の今後の見通し

- 現在未整備の都市計画道路については、今後、平成14年度と平成15年度の平均年間整備延長12.88kmで整備が進むと、約25年後には全て整備を完了することができる。（【図-4】参照）

【図-4】都市計画道路整備の推移と今後の見通し

